

健康づくりに関する施策

健康づくりの取組については、少子高齢化社会に対応するために、二つの柱を基本に進めます。

一つは、妊婦から乳幼児・児童に対する取組で、各種健診等の充実を図ると共に、感染症に対する予防接種と本年2月から実施している子宮頸がんワクチン及び乳幼児から細菌性髄膜炎などを予防するため新年度から実施するヒブワクチン・肺炎球菌ワクチンの接種率の向上を図ります。

二つ目の柱は、壮年から高齢者に対する取組で、生活習慣病の予防と各種がん検診による早期発見・早期治療を充実させます。

毎年、国内死亡率第1位を占めるがん対策については、各種がん検診とあわせて、前立腺がん検診の受診率向上にも努めます。

福祉バスの運行

福祉バスの運行は、高齢者の独居化が進む中で、買い物や医療など、地域の足として重要な施策の一つです。今後は、より良い福祉バスの運行等を協議する委員会を設置し検討を行います。



高齢者福祉施策

高齢者福祉施策及び医療費・介護費の適正化に向けた取組については、桂川町の高齢化率が、昨年10月現在で、24・6%となっており、本格的な「高齢化社会」が到来しています。このことを踏まえて、高齢者を対象に健康状態や福祉・介護に対するニーズ調査を実施し、23年度に「桂川町第5期高齢者福祉計画」を策定します。

また、高齢者のニーズにあつた在宅福祉サービスが提供できる環境づくりを推進するとともに、地域で自立した日常生活を営むことができるよう各公民館等で出前講座などの開設に努め、介護予防事業の充実を図ります。

障がい者の福祉施策

障害者福祉については、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる町の実現を目指す必要があります。そのため、平成23年度に「桂川町第3期障がい者福祉計画」を策定して、障がい者福祉サービスの充実を図ります。

また、障がいの早期相談から治療や機能回復訓練等が一貫して行える療育関連通所施設として、こども発達支援センター「ミイティアス」が、平成23年度から飯塚圏域の障がい児童支援の中核的な施設として開設します。これら施設が行う各種事業などについて広報等で周知徹底し、利用者の施設活用をサポートしていきます。

農業政策

農作物等に多大な被害をもたらす有害鳥獣対策について、イノシシ・シカの捕獲を推進します。

町内では、嘉穂飯塚猟友会桂川支部が有害鳥獣の駆除を行っています。が、人員不足や銃刀法の規制強化など、思うように成果ががならず、新たな取り組みが必要になっています。

社会教育

このため、平成23年度から報償金制度の導入や、わな猟の免許取得のための受験費用を町が補助するなど、被害防止対策の強化に取り組みます。

核家族化、少子化、地域での地縁的なつながりの希薄化などで、地域の教育力の低下が指摘される中、子どもたちの規範意識の低下や集団活動の経験不足、屋外での遊びや自然とのふれあい不足による体力・運動能力の低下が社会問題化しています。

このため、夢・人・未来塾やアンビニヤス広場の取り組みを強化し、生きる力を育むための豊かな生活体験活動の充実を図るとともに、学校における学習支援やクラブ活動の支援についても取り組んでいきます。

人権・同和問題

平成21年度に創設しました「桂川町人権教育啓発推進委員会」を中心に、町民の方が希望される日に、希望される場所に出向いて行う教育・啓発講座などの取り組みを広げたいと考えています。